

12月8日 BIA 研究会の記録

1. 開催日時：2014年12月8日（月） 15:00～17:00
2. 会 場：BCAO 神田事務所
3. 出席者：伊吹さん、岡田さん、織田さん、榎川さん、斎藤さん、高橋孝治さん（欠席）、高橋義久さん、田中さん、野田さん（欠席）
4. 議 題：12月以降の BIA 研究会の方向付け
5. 議 事
 - (1) 織田の出した提案（BIA の業種別汎用性の検証、メリットの整理をすべき）を中心に討議。
 - (2) メンバーから、討議事項について意見聴取の結果、
 - ① BIA ありき、でスタートしているが、業種によっては必要性が異なる。項目の取捨選択があってもよいのではないか。
 - ② BC のメリット、有効性を先に討議すべきではないか。
 - ③ BIA 作業の必要性を検討すべき、農業などではどのような BIA ができるのか。
 - ④ BIA は大企業から中小企業も必要であるが、予算が要するため一律にはできない。また研究会活動は、年度活動計画を執行して、年度ごとに区切りをつけるべきではないか。
 - ⑤ BC 強化の道筋として、内部統制⇒リスクマネジメント⇒BC、それぞれの深掘りが必要ではないか。経営企画・経営管理における位置づけは、方針策定と戦略展開の中間にあるものである。
 - ⑥ BIAO、内閣府、ISO の BIA 関連の記述の中から、「BIA を構成する要素」をピックアップ（次頁参照）した結果、民間営利企業では適用できそうだが、官公署や公益企業では疑問。
 - (3) 以上の結果、メンバー各位の欲求は様々であることも分かった。ただ、ともすれば各論の議論に入ってしまうがちである。BIA 研究会は当面継続することに全員合意のうえ、野田座長が、業務上欠席が増えていることを踏まえ、討議の軌道修正や運営の円滑化の目的で、副座長、事務局長制を敷くことに、出席メンバー全員の合意を得た。
 - (4) 座長は、精神的支柱として野田さんに引き続きお願いし、副座長には、田中さんと織田が共同で当ることとし、事務局長には俊英の若手岡田さんをお願いすることとした。
 - (5) 役割は、副座長が研究会のテーマ選定を行い、会の運営は全面的に事務局長をお願いする。記録者は、事務局長権限で研究会開始時に選出する。
 - (6) 次回は、2015年1月15日（木）同会場、同時間とするが、出欠確認の効率的な方法を工夫する。なお、メンバーの都合により、3月度は、3月13日（金）または3月16日（月）とする。
 - (7) また、1月度研究会のテーマは、「BIA の汎用性の検証」とし、織田の考えを記します。

「元来 BC は、経営の一環であり組織活動であるというのが前提だが、すべての業界（官公署、公益事業、NPO、農業法人などを含め）に適用可能かについて、次頁の BIA 構成要素より、BIA（もしくは BC）は、民間の営利企業にしか適用できないと考えています。また民間企業では BIA 的な考え方は必要であるものの、構成要素全てを満たす必要は無いとわたくしは考えています。

以 上